

みえ県議会 だより

NO. 150

平成28年
(2016年)
8月7日



熊野大花火大会と獅子岩(熊野市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町 13

☎ 059 (224) 2877 ☎ 059 (229) 1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp

🌐 <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>



平成28年三重県議会定例会 6月定例会議 産業人材の確保・育成や1次産業における競争力の 強化に伴う補正予算などについて議論

国費を活用して、産業人材の確保・育成や1次産業における競争力の強化等に取り組む事業のための平成28年度三重県一般会計補正予算のほか、三重県手話言語条例案などを審議し、可決しました。

本号の主な内容

- 1面 三重県手話言語条例の制定
みえ高校生県議会開催のお知らせ
本会議審議の結果、会議の開催状況
- 2～3面 一般質問
平成28年三重県議会定例会の日程
- 4面 委員会の紹介

本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

可決した議員提出議案

○三重県手話言語条例案

可決した議案

○平成28年度三重県一般会計補正予算(第2号)

条例

○幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定要件等に関する条例の一部を改正する条例案 ほか2件

その他議案

「三重県手話言語条例」を制定しました

手話は、物の名前などを手や指の動きなどを使って視覚的に表現するもので、ろう者にとっての声と言語の代わりです。しかし、手話に対する県民の理解や手話通訳を行う人材の確保が十分でない状況にあります。

県議会では、昨年10月に三重県手話言語に関する条例検討会を設置し、計12回の会議などを経て取りまとめた条例案を議員提出議案として提出し、6月30日に全会一致で可決しました。

この条例は、手話が言語であるとの認識に基づいて、手話に関する施策を総合的・計画的に推進することにより、共生社会の実現を図ることとしています。

手話に関する施策を推進するに当たり、基本理念、県の責務、市町・関係機関との連携協力、県民・事業者の役割を規定しています。

また、県は、手話を使いやすい環境の整備のために必要な施策について計画を策定し、さまざまな取り組みを行うこととしています。



三重県手話言語に関する条例検討会の様子

具体的には、観光地等で手話を使いやすい環境の整備や災害時などの手話での情報取得など、三重県らしい規定を取り入れるとともに、

○手話による県政情報の発信等
○手話通訳者の育成
○県民が手話を学習する機会の確保

○幼児、児童、生徒、学生が手話を学習する取り組みの促進
○ろう児等が手話の教育を受けられることができる環境の整備
などに取り組むことを定めています。

この条例の施行は、平成29年4月1日からですが、計画の策定手続については平成28年7月7日から施行します。

○工事請負契約について(松阪地域特別支援学校(仮称)建築工事) ほか3件
人事案件(同意)

○公安委員会委員の選任につき同意を得るについて ほか2件
採択した請願

○県有施設の有効活用について
○医療等に係る消費税問題の抜本的解決について
可決した意見書

○医療等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書
○性的少数者に対する差別の解消と共生社会を実現するための法整備を求める意見書

可決した決議
○沖繩県における米軍属による凶悪事件に抗議する決議

8月19日に「みえ高校生県議会」を開催します！



高校生に議会への関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を直接聴き議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。三重県議会では「みえ高校生県議会」を平成26年に初めて開催し、2回目となる今回は、県内16校から52人の高校生に参加していただきます。

開催日時 平成28年8月19日(金)
13時～16時45分

場所 三重県議会議事堂 議場

内容 高校生が議場で質問し、県議会議員が答えます。

参加校

- | | |
|-------------|----------------|
| 桑名高等学校 | 学芸津田学園高等学校 |
| いなべ総合学園高等学校 | 川越高等学校 |
| 四日市南高等学校 | 暁高等学校 |
| 神戸高等学校 | 響学校 |
| 津高等学校 | 津東高等学校 |
| 高田高等学校 | セントヨゼフ女子学園高等学校 |
| 三重高等学校 | 名張西高等学校 |
| 東紀州くろしお学園 | 木本高等学校 |

当日は議場で傍聴ができるほか、インターネット生中継も行います。三重県の将来を真剣に考える高校生たちの姿を、ぜひご覧ください！

傍聴

12時30分から受付を開始します。議事堂1階の傍聴者用エレベーターで6階の傍聴受付へお越しください。

ネット中継

三重県議会ホームページの「議会中継」からご覧ください。

会議の開催状況

(会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。)

- | | |
|--|--|
| 6月 | 一般質問 (6人) |
| 1日 | 14日 本会議 |
| 各常任委員会(戦略企画雇用経済、防災県土整備企業、教育警察) 所管事項概要の調査 | 一般質問 (4人) |
| 3日 本会議 | 16日 本会議 |
| 議案8件上程 | 一般質問 (4人) |
| 全員協議会 | 20日～23日 各常任委員会・分科会 |
| 平成28年版成果レポート(案)について | 議案等の審査、所管事項の調査 |
| 三重県手話言語に関する条例検討会 | 27日 子どもの貧困対策調査特別委員会 |
| 条例案の確定等について | 執行部からの聴き取り調査 |
| 8日 本会議 | 28日 予算決算常任委員会 |
| 議提議案1件上程、議案に関する質疑(3人)、決議案1件上程・可決 | 議案の審査、所管事項の調査 |
| 選挙区調査特別委員会 | サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会 |
| 三重県議会議員の選挙区及び定数について | 執行部からの聴き取り調査 |
| 10日 本会議 | 30日 本会議 |
| | 議案8件可決、議提議案1件可決、請願2件採択、意見書案2件上程・可決、人事同意議案3件上程・同意 |

※この他にも、議案聴取会、議会運営委員会、代表者会議、議会改革推進会議役員会、委員長会議、広聴広報会議など、さまざまな会議を開催しています。

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

一般質問

社会福祉法人制度改革と関連する問題

小林 正人 議員
自民党
鈴鹿市選出



問 社会福祉法人制度改革により、法人の統廃合による地域偏在やサービス競争の激化による社会福祉理念の崩壊など様々な問題が懸念されます。また、制度改革が進むことで、高齢者施設等の介護職員や保育士の確保、処遇改善の問題等が、さらに困難になると考えます。今回の制度改革と今後の対策等について、県の考えを聞かせてください。

答 法改正の趣旨をふまえ、市と連携し、法人が本来の役割を果たせるよう支援するとともに、懸念される問題が生じないよう対応していきます。また、介護職員や保育士については、国で処遇改善策の拡充が行われることとなっており、県としても制度の周知や活用の促進等、処遇改善に向けて支援していきます。



その他の質問事項
○介護保険制度における福祉用具貸与及び住宅改修

○建設事務所の予算配分
ほか

近畿自動車道紀勢線の未事業化区間の早期事業化を

大久保孝栄 議員
鷹山
熊野市・南牟婁郡選出



問 近畿自動車道紀勢線の未事業化区間も県内であと一箇所となりました。高速道路は熊本地震後の支援体制の早期構築に大きく寄与しました。南海トラフ地震が予想される中、この一箇所がつかないとなれば「命の道」がつかないままです。防災、二次救急、観光、地方創生には道路がつかないことが必要です。平成29年度新規事業化に向け、知事の意気込みを聞かせてください。



近畿自動車道紀勢線の整備状況

答 近畿自動車道紀勢線は、地域の安全・安心や地方創生のために必要不可欠な道路です。今後、国に「命の道」として重要性を訴えるとともに、具体的な地域づくりにつながる事例を説明し、関係市町や地元民間企業等とも一体となってアピールし、あらゆる機会を見つけて、早期事業化の要望活動を展開します。

その他の質問事項
○女性活躍の観点からの看護師確保対策について

○家庭教育の充実について
ほか

子どもの発達支援に関する医療体制の充実を

山内 道明 議員
公明党
四日市市選出



問 県内では子どもの発達支援の専門医・機関が不足しています。受診に数か月を要する状況もあり、身近な地域で必要な時に必要な医療を受けたいとの関係者の思いは切実です。平成29年6月の三重県立子ども心身発達医療センターの開設に向けて、発達支援が必要な子ども達への支援強化の取り組みと、開設後のセンターの機能について聞かせてください。

答 身近な地域での早期支援に向け、市町の窓口支援の強化、初期的な対応ができる専門的職員の養成等を行うとともに対応医療機関の拡充を図っています。また、新センターでは隣接する三重病院と協働して専門医の確保・育成に努めます。これらにより受診待ちの解消を図り、市町等と連携した「途切れのない支援体制」の構築につなげます。



三重県立子ども心身発達医療センター完成予想図

その他の質問事項
○里親制度の推進について

○産業廃棄物の不法投棄対策について
ほか

桑名市総合医療センター新病院整備について

倉本 崇弘 議員
大志
桑名市・桑名郡選出



問 本事業は県の地域医療再生基金が投入されています。桑名市は、常識的には当初工事契約に含まれるべき手術室の機器の整備費を別立てとし、追加で契約しました。基金を投入した当初工事が完了しても病院は完成しなかったということであり、これは地域医療再生計画の大きな変更として、県がチェックする必要があるものと考えますが、いかがですか。



答 当該基金による地域医療体制を確保する観点から事業計画全体に対し行っており、その確保に影響がある場合には計画の変更手続きが必要です。本件は当初から必要な医療機器の整備は計画に含まれており、追加分については、県のチェックの範囲外と考えております。

その他の質問事項
○みえ公共施設等総合管理基本方針

○小中学校の教員配置
ほか

林業の活性化を

吉川 新 議員
新政みえ
度会郡選出



問 中山間地域の活性化には森林の活用が必要と考えており、林業の活性化には、木材の需要拡大、生産コスト低減、森林の持つ多面的機能の活用などが考えられます。現在の日本の木材価格はヨーロッパよりも有利であるにもかかわらず品質や生産性で劣り競争力で負けている状況です。今後、林業の活性化にどのように取り組むのかを聞かせてください。

答 県では、主伐の促進やCLTの普及による県産材の需要拡大など、生産から流通、販売までの一体的な取り組みを推進しています。今後は、サミットでも使用された三重の木材の魅力や国内向けに発信するとともに、林業関連産業全体の低コスト化、採算性の向上を図り、林業の活性化につなげます。



サミットで活用された「尾鷲ひのき」のテーブル等

その他の質問事項
○都市計画制度について

○熊野古道の活性化について
ほか

国歌斉唱のしっかりとした指導を

野口 正 議員
自民党
松阪市選出



問 高校の卒業式等に出席して国歌斉唱の様子を見ましたが、録音の歌声しか聞こえず、子どもたちが口すら動かさないような状況も見られました。小学校では以前に比べて大きな声で歌っており、市町の教育委員会はかなり努力をしていると感じます。学校卒業式等での国歌斉唱について、現場の状況をどのように捉えているのかを聞かせてください。



答 日本人としての自覚を養い、国を愛する心を育てるとともに、国歌に対して一層正しい認識を持ち、尊重する態度を育てることは大変重要なことです。国歌斉唱の状況は改善されてきた一方で、声の大きさが不十分との意見もあります。今後も、学習指導要領に基づき適切に指導が行われるよう、市町教育委員会とともに指導を進めます。

その他の質問事項
○三重県松阪食肉公社の施設環境について

○山林保全の考え方について
ほか

児童相談所の体制強化を

下野 幸助 議員
新政みえ
鈴鹿市選出



問 児童虐待相談対応件数が年々増加しており、児童相談所の職員は多くの案件に追われ、多忙な勤務に就いています。労働環境の改善についてどのように考えますか。また、現在の体制では職員を増員しても、一人前に業務をこなせる頃に異動になるその繰り返しです。長期的に勤務可能な専門職の配置などの、組織運営の抜本的な見直しが必要と考えますが、いかがですか。

答 児童相談所職員の負担が増加しているため、職員を増員することにも、一部業務の外部委託などを行っています。また、児童相談分野で専門性を持つて継続的に勤務できる専門職の確保に努めるとともに、職員の専門性の向上のため、研修体系の見直しにも取り組んでいきます。




その他の質問事項
○一人親家庭等医療費・子ども医療費助成制度の推進（現物給付・窓口無料化）について

○みえの育児男子の育成について
ほか

**伊賀白鳳高等学校へ
土木・建築コースの創設を**

中森 博文 議員
自民党
名張市選出



問 公共工事の担い手
すべての分野で、若
年層の人材不足、技術継承
に課題があると考えていま
す。また、三重県教育施策
大綱には建
設業の活性
化に向けた
人材確保や
技術継承に
関する記載もあります。こ
のような中、伊賀地域建設
産業団体から伊賀白鳳高校
における土木・建築コース
の設置について要望書が提
出されていますが、県の所
見を聞かせてください。




答 県教育委員会とし
ては、名張市、伊賀
市の両教育委員会の協力の
もと、中学生や保護者に対
して学習内容の希望調査を
実施するとともに、県議会
の議論や土木・建築分野も
含めた地域の産業界の二
ズ、伊賀地域高等学校活性
化推進協議会での意見を踏
まえ、総合的に検討し、方
向性を定めていきます。

その他の質問事項
○耐震改修について
○名張青峰高等学校につい
て
ほか

就学援助の改善を

杉本 熊野 議員
新政みえ
津市選出



問 県内市町の就学援
助については、周知
の時期、支給時期、支給金
額、援助内容にかなりのば
らつきがあります。就学援
助を改善し、充実するよう
推進してください。また、
入学準備金の支給時期が多
くが入学後の7月や10月と
なっています。入学準備金
の支給を前倒しして、入学
前の3月支給を推進しても
らいたいと思いますが、教
育長の考えを聞かせてくだ
さい。


答 就学援助の支給時
期等は市町に任せ
られ、ばらつきがありますが、
中学校入学時の支給時期の
前倒しを検討している市町
もあると聞いています。県
教育委員会では、市町との
会議などを通じ、就学援助
に関する先
進的な取組
事例を情報
共有するな
ど、子ども
たちが安心
して学べるよう取り組んで
いきます。



その他の質問事項
○ポストサミットと女性活
躍推進
○在宅医療推進のための看
護師の育成について
ほか

**土壌汚染対策の
規制緩和を**

石田 成生 議員
自民党
四日市市選出



問 国は土壌汚染対策
法による土壌汚染対
策の規制の緩和を検討して
います。県では「三重県生
活環境の保全に関する条
例」により規制を上乗せし、
一定規模の土地の形質変更
を行う際に
全国的に見
ても厳しい
規制を課し
ており、企
業進出や設備投資の際に企
業に大きな負担がかかって
います。産業振興の観点か
ら、条例による規制の緩
和が必要と考えますが、い
かがですか。




答 企業誘致や投資促
進のひとつの戦略が
規制の合理化と考えていま
すが、安全に対する県民の
厳しい目や、環境政策に取
り組んできた歴史的経緯も
勘案する必要があります。
産業振興と環境政策のバラ
ンスをよく見て、国の対応
も注視しながら、条例につ
いても対応を検討していき
ます。

その他の質問事項
○在宅医療のICT活用に
ついて
○「三重とこわか国体」の
準備体制について
ほか

**投票率向上に向けた
取り組みを**

森野 真治 議員
新政みえ
伊賀市選出



問 三重大学には津市
の期日前投票所が設
置されますが、県内各地か
ら学生が通学しており、県
内市町の共通の期日前投票
所として設置できれば、更
に投票率の向上が見込める
と思います。いかがです
か。また、同様に高校への期
日前投票所の設置や、**②** 移
動投票所の設置なども検討
すべきと考えますが、いか
がですか。


答 複数市町共通の期
については、投票所間のネッ
トワークの構築等多くの課
題があるため、他団体の状
況を注視し、課題について
国に提案等を行います。ま
た、高校への期日前投票所
の設置や移
動投票所の
設置につい
ては、各市
町選挙管理
委員会に対し、他県の事例
等の情報提供を行います。



その他の質問事項
○熊本地震を踏まえた危機
管理体制について
○ワークライフバランスの
推進について
ほか

**水質改善による
「豊かな伊勢湾」の再生を**

館 直人 議員
新政みえ
三重郡選出



問 伊勢湾などの**③** 閉
鎖性海域の水質改善
に向けて、これまでも陸域
からの汚濁流入規制が積極
的に行われていますが、海
の浄化能力を高める取り組
みも必要不可欠です。三河
湾では干潟
造成などで
水質が改善
し、稚貝移
植でアサリ
の漁獲量がV字回復しまし
た。愛知県とも連携し、豊
かな伊勢湾を取り戻すた
め、藻場・干潟の再生にと
のように取り組むのかを聞
かせてください。



答 水質浄化機能を持
つアサリの減少を防
ぐため、本年度から「伊勢
湾アサリ復活プロジェクト」
に取り組んでいきます。
この中で、母貝場の整備、
稚貝移植に向けたマニュアル
の作成、広域的な視点に
基づくビジョンの策定を
進め、漁業者等と協力しな
がら、水産資源豊かな伊勢
湾へと再生していきます。

その他の質問事項
○本県スポーツの推進につ
いて
ほか

用語解説

1 CLT(直交集成板)

Cross Laminated Timberの略で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことです。CLT工法は、施工性や断熱性・耐震性に優れていま

をワゴン車等に載せて、期日前投票所として自治体内の各地区を巡回するものです。

3 閉鎖性海域

内湾、内海など、陸域に囲まれた海域のことです。水産資源に恵まれますが、外海との水の交換が行われにくいため、水質が悪化しやすい性質があります。

2 移動投票所

移動投票所は、投票箱

平成28年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。
9月から10月までの日程は次のとおりです。

9月 1日	代表者会議
8日	議会運営委員会、選挙区調査特別委員会
15日	本会議(議案上程)
21日	本会議(議案質疑)
26日、28日、30日	本会議(一般質問)
10月 3日	予算決算常任委員会
4日	全員協議会
5日~7日、11日	各常任委員会及び分科会
17日	本会議(代表質問)、 予算決算常任委員会
18日	代表者会議、議会運営委員会
19日	本会議(採決・議案上程)、 予算決算常任委員会
25日~26日	予算決算常任委員会
31日	予算決算常任委員会(決算総括質疑)

この日程は、平成28年7月5日現在の予定です。最新の情報は、ホームページでご確認ください。

TV テレビ中継 □ インターネット中継



**議会のインターネット中継が
スマホからご覧になれます**

三重県議会では、本会議・委員会・議長定例会見などのインターネット中継・録画配信を行っています。今年度からは、スマートフォンやタブレット端末からも視聴できるようになりました。

議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

※平成28年三重県議会定例会の日程」でマークがついている会議等の中継・録画配信を行っています。



▲議会中継
トップへ

委員会の紹介

行政部門別常任委員会、特別委員会の活動を紹介します。

総務地域連携常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- ワーク・ライフ・マネジメントについて 職員一人ひとりが仕事と生活の両立を実現できる職場環境づくりや組織のあり方について調査します。
- 移住の促進について 地域の活力の維持・向上に向けた移住促進の取り組みについて調査します。
- スポーツの推進・競技力の向上について 地域スポーツの推進や平成33年の国民体育大会等に向けた競技力向上の取り組みについて調査します。
- 南部地域の活性化について 市町と連携した県南部地域の活性化の取り組みや、熊野古道の活用促進について調査します。



ええとこやんか三重 移住相談センター

環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 文化振興 県民の皆さんが主体的に文化にふれ親しみ、支え、創造することができ環境整備の取り組み等について調査します。
- 地球温暖化対策と大気・水環境の保全 温室効果ガスの排出削減、工場等からのばい煙や排水の排出規制等に係る取り組みを調査します。
- もろかる農林水産業 収益性と高付加価値を意識した農林水産業への転換や、グローバル化などに対応した持続的発展に向けた取り組み等について調査します。
- 獣害対策と獣肉等の有効活用 野生鳥獣の被害防止や生息管理、獣肉等の利活用を促進する取り組み等を調査します。



三重ジビエを活用した料理

防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業（病院事業を除く。）の運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 防災・減災対策 地震・津波対策や風水害対策の取り組みをはじめ、消防団など地域の防災力向上の取り組みや建築物の耐震対策などについて調査します。
- 入札制度を含む建設産業の活性化について 災害時などの安全・安心や雇用確保など地域において重要な役割を担っている建設産業の活性化について、入札制度も含めて調査します。
- その他 道路及び流域の整備と企業庁の次期経営計画について調査します。



物質荷卸し状況(自衛隊・ボランティア)

戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興（農林水産業を除く）、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 広聴広報の充実 三重県プロモーションの戦略的な推進、広報媒体のベストミックス等について調査します。
- 若者の雇用対策・県内定着 若者の就業や職業的自立の支援、県内定着の促進等について調査します。
- 三重県中小企業・小規模企業振興条例の検証 条例施行後の成果や課題を踏まえ、条例の検証を行います。
- 観光振興 学習旅行誘致等の国内誘客対策、MICE誘致等の国外誘客対策等について調査します。



企業と若者の交流会

健康福祉病院常任委員会

保健衛生行政の推進、社会福祉・社会保障の推進、地域医療対策、子ども・青少年の育成、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 地域における医療と介護の提供体制 地域の実情に応じた、安心で質の高い医療・介護サービスの提供体制の構築や医療・介護分野の人材確保に向けた取り組み等について調査します。
- 障がい者の自立と共生社会づくり 障がい者が自立し、地域で安心して生活できるように、就労支援や相談支援体制の構築に向けた取り組み等について調査します。
- 子どもの育ちや子育てを支える体制づくり 子どもの健やかな育ちを支援する取り組みや、児童虐待の未然防止、子育て世帯への総合的な支援など、子どもを守り、育てる取り組み等について調査します。



出産・育児まるっとサポートみえ

教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

- 県立高等学校の活性化 各校の特色を生かし、さらに活性化するための方策、次期県立高等学校活性化計画（仮称）などについて調査します。
- 学力・体力の向上 子どもたちが「学び喜び」、「体を動かす楽しさ」などを実感するための取り組みについて調査します。
- 防災対策・防災教育 学校における防災対策・防災教育の取り組みについて調査します。
- 総合的な犯罪抑止対策と交通安全対策 特殊詐欺などの犯罪抑止対策や交通安全対策の取り組みなどについて調査します。



高校との合同授業

子どもの貧困対策調査特別委員会

子どもの貧困対策（雇用、福祉、教育など）について調査します。

【調査の概要】

平成25年の国民生活基礎調査（厚生労働省）によると、日本の子どもの貧困率は16.3%と、およそ6人に1人の子どもが、平均的な生活水準の半分に満たない状況にあります。生まれ育った環境によって子どもたちの将来が左右され、希望が失われることは、あってはならないことです。本委員会では、子どもを取り巻く環境を改善するために、今現在、困っている子どもたちやその家庭がどのような状況にあり、どのような支援を必要としているのかについて調査します。

サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会

サミットを契機とした地域の総合力向上について調査します。

【調査の概要】

伊勢志摩サミットでは、三重県が世界中からの注目を集めるとともに、県民の皆さんにも、住んでいる地域の素晴らしさを改めて認識していただける絶好の機会になりました。本委員会では、サミットの効果を一過性にせず、これからの三重県の姿をどう描いていくのか、人や食、産業といった本県の力をどのように向上させていくのかといった課題について調査します。サミットによってもたらされた地域への有形無形の影響（レガシー）、それを生かした取り組み、サミットの経済効果等を重点的に調査します。

選挙区調査特別委員会

県議会議員の選挙区・定数について調査します。

【調査の概要】

三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例は、平成26年5月に改正されました。条例の改正に当たり、人口動態や社会経済情勢等の状況も考慮し、改正された議員の下でも引き続いて一票の格差の是正、総定数、選挙区のあり方の検証等を行っていく必要があることが附帯事項とされたことを受けて、本委員会は設置されました。議会基本条例においても、県民意思等が的確に反映されるよう不断の見直しを行うものと定められており、本年2月に公表された平成27年国勢調査結果速報などもふまえ、検証等を行います。